

11 海外留学（1セメスター以上）×就職活動

1セメスター以上の派遣期間の海外留学に参加を考えている（する）皆さんは、いったん日本国内での生活から離れることとなります。帰国時期により、その後の予定は異なりますが、帰国後すぐ就職活動を始めなければならない場合は、自身のキャリアを留学計画の段階からイメージしておく必要があります。

1. 留学までに考えておくこと！

① 留学目的の確認

留学の目的は言語習得、異文化体験など様々だと思いますが、そのような目的を達成することで、自分がどのような成長ができるのかをイメージすることも大切です。単純な思い出としての留学経験の蓄積では、留学をキャリアとして効果的に活かすことにはなりません。

② キャリア・プランニング

留学を踏まえた大学生生活の設計においては、卒業後の進路も考えておく必要があります。留学する前までにキャリア・プランニングを行い、就職を希望する場合は、自己分析・業界研究などを行ってみましょう。特に、自分の希望の進路における就職活動のスケジュールを確認して、イメージしておきましょう。一般的な就職活動のスケジュール（2019年9月・2020年3月卒業・修了予定者）は表1のようになります。皆さんの留学後の帰国予定日を確認して、就職活動のスケジュールのどの段階に帰国するかを認識しておくことで良いでしょう。また、海外留学先によっては、日本企業による合同企業説明会（ジョブフェアやキャリアフォーラム）などもあります。こういった機会を活用できるように事前に調べておくことで良いでしょう。

表1 就職活動スケジュール概要（2019年9月・2020年3月卒業・修了予定者、キャリアセンター提供）



- ① 広報活動※1 3 回生 3月以降解禁
- ② 採用選考活動※2 4 回生 6月以降解禁

※1 採用を目的とした情報を学生に対して発信する活動。採用のための実質的な選考とならない活動。
 ※2 採用のための実質的な選考を行う活動。採用のために参加が必須となる活動。

大学内のキャリアセンターやホームページなどを活用して、留学後の進路・就職活動のイメージを深めることもお勧めします（後述3. 参考）。

2. 留学中のキャリア形成のヒント

留学先での生活に慣れてきたら、留学前に計画した目標に向かって進み始めましょう。計画は必ずしも当初の予定通りにいかないことが多いものですが、当初の計画通りにならないことが着実に進んでいないことを意味するものではありません。計画はその環境・状況によって変化するものでもありますので、目標への道のりの再設定や目標設定の変更なども必要に応じて行いましょう。

留学中（留学前の準備も含めて）において、戸惑ったこと、失敗したこと、達成できたこと、成長できたことなど、海外留学経験により、自分がどのように感じたか、変わったと認識したのかをしっかりと自分自身の言葉で伝えられるように意識することも大切です。後から振り返ることができるように、日記やブログなどで留学経験を書きとめておくこともお勧めします。こういったことが、自己分析の種・素材ともなり得ます。

経済のグローバル化に伴い、近年は長期海外留学経験者の採用に積極的な企業が増加しています。ただし、企業が長期海外留学経験に最も期待していることは、『バイタリティ』（異なる文化・言語の国や地域で、どのような目的をもって物事に取り組み、その過程でどのような課題を見つけて解決していったのか）などであり、語学力や異文化理解だけでは不十分です。留学経験を語学力の研鑽や異文化体験で終わらず、大きな成長の場として捉えて行動をしましょう。

3. キャリアセンターを活用しよう

留学前から留学中でもキャリアセンターからの情報や動画を確認して、本学でのイベントや日本国内の就職動向をチェックしましょう。周りに流されず、自分の状況をしっかり把握して、帰国後に慌てることなく、就職活動に繋がるようにしてください。

キャリアセンター

【メインページ】

<http://www.ritsumei.ac.jp/career/>

【GLOBAL×CAREERページ】

<http://www.ritsumei.ac.jp/career/global/>

◆海外でも見られるように、大学で実施した企画の一部を動画配信しています。

【企画動画配信ページ】

<https://secure.ritsumei.ac.jp/career/current/library/video.html/>



4. 留学後に考えること

留学後は次の段階に向けて、留学で得た経験や能力を活用していくことも重要です。留学で経験したことを振り返り、それが自分にどう影響し、今後の自分にとってどう活かしていけるのかなど、他の人に分かり易く伝えられるよう整理をしてみましょう。